

<資料4>

令和元年度 藤枝市行政サービス評価委員会

地方創生事業(推進交付金)事業総括表

藤枝市

<事業総括表>

地方創生推進交付金 (ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)

■事業概要

ICT・IoT活用により、地元企業の持続的な成長の基礎づくり、若い世代が働きたい就業環境づくりを進め、将来を担う人材を育成することで、魅力ある「しごと」と輝く「ひと」を生み出し、地元での就職やU/IJターンを希望される「稼ぐ力のあるまち」を目指し、移住・定住を促進する。

事業の推進主体として産学官連携により「藤枝ICTコンソーシアム」を設立し、ICT活用に精通した人材養成や、地域内中小企業のICT活用促進、また仕事を集めるクラウドソーシング導入に向けた体制構築を進める。

レベルやニーズに応じたICT教育機会を民間主導で構築し、即戦力となるICT人材を育成。同時に、クラウドソーシングの提供や地元の産業におけるICT導入支援により、企業収益を改善し個人所得の向上を図ることで、地元に着住する移住者をさらに増加させる好循環を生みだしていく。

特にクラウドソーシングについては、仕事およびワーカーの確保が重要となるため、地元企業からの仕事の発注促進に加えレベルの高いワーカー育成に主眼を置き、仕事の質と量の確保に努める。

■事業実績

地方創生交付金 KPI管理

※実数値ベース

KPI名		H28	H29	H30	R1	R2	
1	20～30代の転入者数(人)	目標値	2,817	2,817	2,894	2,988	3,106
		実績値	2,571	2,539	2,628		
		達成率	91.3%	90.1%	90.8%		
2	クラウドソーシングによるしごと創出数(件)	目標値	0	30	118	177	266
		実績値	50	52	178		
		達成率	-	173.3%	150.8%		
3	地元企業でICTを新たに導入した企業数(社)	目標値	0	4	12	18	24
		実績値	0	8	22		
		達成率	-	200.0%	183.3%		

■事業内容

No.	事業名	事業内容	事業費(円)	担当課
1	ICTロボット教育普及事業	レベルの高い教育環境の確保に向け、小中学校での教育等によりプログラミング教育に興味を持つ児童・生徒で希望する者(塾方式)に対して、プログラミング特別講座を実施するとともに、民間事業者が実施するさらに高度な内容で行うICT・ロボットに関する教室の事業費の一部を補助。民間の新規事業を促し、ICT・ロボット教育環境の充実で人材の育成を図った。	1,000,000	ICT推進室
2	ICT活用エキスパート養成事業	小・中学生を対象としたプログラミング教育に続く、切れ目のないICT人材育成の一環として、高校・大学・社会人を対象とした実践的なICT教育を実施。昨年度、受講者の評価が高かったシステムの構築実習を行う専門的な「IoT活用実践講座」に加え、ビジネスに必要な知識を習得する「ITパスポート合格講座」を実施した。	4,000,000	ICT推進室
3	交流型ITキャンプ事業	中山間地域をフィールドに、藤枝市および島田市在住の小学4年生から6年生までを対象とするIT学習を中核とした複数日にわたる交流型キャンプを実施した。これにより地域への愛着醸成と短期集中型のIT学習によって論理的思考力や創造性、問題解決力等を有する人材育成を図った。	4,492,800	ICT推進室
4	藤枝クラウドソーシング運営事業	スキルを持つ女性やアクティブシニア等を対象に、時間や場所、業務の種類を選ばないクラウドソーシングを導入し、ICTを活用した働き方改革を進めることで、個人所得の向上と市外に流出していたICT業務の地元受注を図るため、藤枝ICTコンソーシアムに対し補助金を交付した。	57,000,000	ICT推進室
5	クラウドソーシング業務発注体験事業	地元企業を対象として、藤枝版クラウドソーシングを利活用した業務発注の体験を促すことで、クラウドソーシングを利用した業務発注やBPOのノウハウ習得を支援する藤枝ICTコンソーシアムに対して補助金を交付した。	3,000,000	ICT推進室
6	オープンスペースの設置	ワーカーが業務の相談、PCを用いた研修、情報共有ができ、業務内容に応じたセキュアなワーキングスペースを開設する藤枝ICTコンソーシアムに対して補助金を交付した。	5,000,000	ICT推進室
7	地元産業ICT導入促進事業	中小企業が知見・認識を深めるとともに、業種・業態特有の課題に適応するため、講座及びセミナーを開催した。また、市民を含めた地元企業を対象にふじえだ産業祭と連動した「ふじえだICT未来展」を実施した。さらに、支援機関と連携しながら企業訪問やヒアリングを行い、導入に向けたコンサルティングを実施した。	30,000,000	産業政策課
8	LPWA活用実証実験事業	IoT活用通信基盤を活用し安全・安心な住環境づくりに向けた行政サービスの実証実験として、小学校1・2年生を対象とした登下校お知らせサービスを実施した。	6,800,000	ICT推進室
9	IoT活用促進事業	行政課題に対応し、かつ実装の可能性の高いIoT活用実証実験を実施。【高齢者見守り】【獣害対策】【交通安全】をテーマに実証実験を行った。	7,875,468	ICT推進室
総事業費			119,168,268	

<事業総括表>

地方創生推進交付金(広域ネットワークによる商品ブランド化プロジェクト)

■事業概要

北海道恵庭市特産のトマトを藤枝市の民間企業の世界的乾燥技術により加工する商品化スタートプロジェクトを皮切りに、気候・風土が全く異なる北海道と静岡の豊富な食・特産品のブランド力に、民間企業技術を活用するなど、広域農商工連携による新たな価値を有する新商品開発・ブランド化を進める。ハスカップ、南瓜、みかん等の特産品を使った高付加価値新商品ブランドに発展させるとともに、それぞれの都市の至近である新千歳空港と富士山静岡空港を生かした国内やアジアへの物流の確立、新規顧客の獲得や販路拡大を図る。事業効果を高めるため、①マーケティング②啓発、民間事業者のマッチング・交流会③相互産物を活用した新商品開発・ブランド化④ネットショップ開設⑤近隣空港就航先等、海外を含めた販路拡大、という一連の流れに沿って展開する。

■事業実績

地方創生交付金 KPI管理

※実数値ベース

KPI名		H28	H29	H30	
1	農商工連携製品販売額(千円)	目標値	3,000	9,620	57,239
		実績値	5,000	11,860	47,237
		達成率	166.7%	123.3%	82.5%
2	企業の引き合わせ(マッチング)件数(件)	目標値	0	4	12
		実績値	0	22	14
		達成率	-	550.0%	116.7%
3	新規雇用人数(人)	目標値	0	1	3
		実績値	0	1	3
		達成率	-	100.0%	100.0%

■事業内容

No.	事業名	事業内容	事業費(円)	担当課
10	交流会啓発・相談支援事業	両市で開催されたマッチング交流会に伴う啓発を行うとともに、産業コーディネーターやエフドアによるマッチング交流会のサポート及び各事業者からの相談等への助言を実施。特に産業コーディネーターが恵庭市特産品と本市食品加工業者をマッチングし、学校給食へ新メニューの開発、提供をすることで、市内小中学校の児童、生徒及びその家族等へ両市における取組みを発信した。	6,001,476	産業政策課
11	マッチング・交流会	恵庭市で開催されるマッチング・交流会への参加及び本市会場のマッチング・交流会の開催した。	1,414,430	産業政策課
12	特産品等販売システムを含む農商工連携6次産業化推進協議会負担金	両市は広域ネットワークに係る経費を負担し、ネット販売に係るシステムの構築、イベント出展、販売促進物品の作成を実施した。	1,288,484	産業政策課
13	販路拡大出展事業費	両市の特産品及び連携商品、取組事業、ネット販売等をPRし、販売促進に繋げるため、巣鴨アンテナショップにおいてイベントを実施した。	253,375	産業政策課
14	アジア圏ニーズ調査業務	海外(アジア圏)販路開拓に向けて、両市の特産品、連携商品等について、購買力の高い台湾、香港、シンガポールの三カ国で消費者ニーズ調査を実施した。	1,499,040	産業政策課
総事業費			10,456,805	

<事業総括表>

地方創生推進交付金（大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる 藤枝”活動・交流都心”創造計画）

■事業概要

「①人材を育てる」、「②産業を育てる」、「③人材と産業をつなぐ」を柱に、藤枝市産学官連携推進センターを拠点にその活用を図るとともに競争力・持続力ある地元産業とこれを担う人材を育成し、地元産業の振興や学生の地元定着、中心市街地の活性化を推進するため、推進組織となる「産学官連携推進協議会」を産学官金により立ち上げ、以下の取組を実施している。

- ・「産学官連携推進センター」を活動拠点とした企業と学生のビジネス研究・交流、就職マッチングや学生、市民を対象にしたビジネス学習、まちづくりセミナー雇用・就職マッチングのワンストップ化
- ・実践的「情報ビジネス」教育による学生等の人材育成と、街なかでの活動展開による中心市街地のまちの魅力向上
- ・街なかでのビジネスコミュニティ活動促進と郊外拠点エリアへの効果的展開を図る仕掛け、また情報ビジネスの一環としてのシェアサイクル構築による、コンパクト＋ネットワークの充実
- ・情報ビジネス産業の成長による雇用創出、実戦力のある人材育成の両立による、学生の確実な地元定着の流れ創出

■事業実績

地方創生交付金 KPI管理

※実数値ベース

KPI名		H29	H30	R1	
1	産学官連携情報ビジネス創出事業 件数(件)	目標値	12	27	52
		実績値	8	23	
		達成率	66.7%	85.2%	
2	市内へ就職した大学生数【連携4大 学より】(人)	目標値	42	52	62
		実績値	62	53	
		達成率	147.6%	101.9%	
3	中心市街地の空き店舗や施設の空 き区画を利用したチャレンジショッ プ数(件)	目標値	0	3	7
		実績値	3	9	
		達成率	-	300.0%	
4	法人市民収入額(千円)	目標値	1,504,816	1,533,755	1,562,693
		実績値	1,624,759	1,720,322	
		達成率	108.0%	112.2%	

■事業内容

No.	事業名	事業内容	事業費(円)	担当課
15	産学官連携による「情報ビジネス」創造事業	学生と地域の企業をつなげる交流会や学生が地域の企業を調査し魅力を伝える地域企業探索、学生や市民に向けたビジネス啓発セミナーや市民公開講座など、産官学連携推進協議会が主体となって実施した取組を支援した。	13,119,000	企画政策課
16	「情報ビジネス」トライアルスペース開設・運営	中心市街地の賑わい拠点施設「BiVi藤枝」内に設置したトライアルスペースでの事業展開を支援するとともに、事業者が試行的に店舗を開設して経営体験を行い、事業の実現性を高めていくための起業を支援した。	3,000,000	中心市街地活化推進課
17	「食メディア」研究・展開事業	地産地消や食育、男性の家事参加など「食」を通じて地域課題を啓蒙啓発する取組を支援した。ABC Cooking Studioと協力し、藤枝産給食メニューの開発と市内小中学校給食で提供による食育啓発、食材を使い切るメニュー食べ切りの促進、料理下手な男性でも作れる時短レシピの開発・教室による家事参加促進、藤枝産スイーツの開発による地産地消推進を行うとともに、メニューの調理方法の動画を作成し、インターネット上で情報発信を行った。	4,000,000	企画政策課
18	「情報メディア」研究・展開事業	若者が地域を知り、若者向けに発信する取組を支援した。TOKAIケーブルネットワークと協力し、地域学生の参画による藤枝の地域情報や観光、産業に関する5分間の情報発信番組を製作し、毎日2回ケーブルテレビで放映(BiViキャン紹介、インスタ映えスポット、スイーツのまち・藤枝、藤枝のICT推進の取組など全11番組)企画内容は、学生のワークショップによって決定し、現地のロケや市民インタビュー、番組進行も参加学生が行った。	3,000,000	企画政策課
19	「まちづくりデザイン」研究・展開事業	「持続可能で魅力あふれる徒歩圏暮らし」の実現を目指し、産学官によるエリアマネジメントに関する調査、研究、検討、具体的な取り組み等を支援。平成30年度は、「コミュニティ」をテーマに新住民と既存住民や商店街との活動・交流機会の創出のための調査・研究を実施。実施主体である(株)まちづくり藤枝へ補助を行った。	3,000,000	中心市街地活化推進課
20	街なかストックリノベーション促進事業	リノベーションによるまちづくりを推進するため、街なかの空き店舗等への出店に向けたプロセスや開業等の支援を行う。実施主体である(株)まちづくり藤枝に間接補助を行い、リノベーションまちづくり構想やガイドブック(リノベーションの進め方)の作成と推進組織を構築した。	2,000,000	中心市街地活化推進課
21	街なかシェアサイクル構築事業	自転車12台、ステーション5箇所の拡充やシェアサイクルシステムの円滑な運用に当たり、運営主体の第3セクター(株)まちづくり藤枝へ補助を行った。	4,500,000	中心市街地活化推進課
総事業費			32,619,000	

<事業総括表>

地方創生推進交付金（静岡県中部地区広域連携による観光まちづくりプロジェクト）

■事業概要

静岡県中部志太榛原地域における交流人口の増加を図るため、平成29年3月に本地域を活動エリアとした地域連携DMO（観光まちづくり組織）を立ち上げた（事務局：（公財）するが企画観光局）。5市2町の地域資源を活用し、新たな観光商品を開発するとともに圏域の情報発信を強化することで、圏域全体の観光まちづくりを実施した。

①圏域全体での情報発信・ブランドプロモーション

- ・SNSを活用した個別資源の紹介、観光商品のプロモーションを実施した。
- ・テレビや雑誌等の取材により圏域を紹介し、誘客を促した。

②3つのテーマに基づいた個別地域資源の開発

- ・「Learn」…交流からの学びと変化、成長に満ちた場所を提供した。
- ・「Tea」…お茶を通じて多様な対話を生む仕組みのある場所を提供した。
- ・「Sea」…海産物を活かした地域グルメ開発を支援した。

③市場調査・KPIトラッキング

- ・詳細な旅行者ニーズ分析のため、市場調査を実施、併せてKPIをトラッキングした。

■事業実績

地方創生交付金 KPI管理

※実数値ベース

KPI名		H30	R1	R2	
1	宿泊観光経済(千円)	目標値	2,898,000	3,355,000	4,286,000
		実績値	3,429,765		
		達成率	118.3%		
2	宿泊客数(千人)	目標値	126	145	179
		実績値	149		
		達成率	118.3%		
3	中部5市2町の観光目的地としての認知率(%)	目標値	0.0050	0.0055	0.0060
		実績値	0.0020		
		達成率	40.0%		

■ 事業内容

No.	事業名	事業内容	事業費(円)	担当課
22	静岡県中部地区広域連携による観光まちづくりプロジェクト	①情報発信・ブランドプロモーション ・SNSやインターネットを活用するとともに、マスメディアも利用して、藤まつりや朝ラー、イベントなど本市の地域資源に係る情報発信を行った。 ②個別地域資源の開発 ・「Learn」…体験学習を提供できる事業者との調整を行った。 ・「Tea」…本市事業者による「茶氷」(お茶を使ったかき氷)事業への参画、農家による「茶の間」(茶畑での喫茶)事業の調整を行った。 ③市場調査 ・インターネットにおいて、不特定多数の方が観光目的地として5市2町の施設等を思いつく割合の調査等を行った。	5,000,000	商業観光課
総事業費			5,000,000	